

①学習課題（小学校3年生）



【国語】計画を立てて少しずつ取り組んでいきましょう。

＜勉強すること＞

◆「漢字の音と訓」（教科書38・39ページ）を学習しましょう。

「音」読み 中国からつたえられた当時の発音に近い読み方

「訓」読み 漢字の意味に合った日本語をあてて読む読み方

① 教科書11～39ページで学習した漢字について調べましょう。

- (1) 「音」読みしかない漢字は、いくつあるでしょうか。
- (2) 「音」読みしかない漢字を見付けて、ノートや取組シートに書きましょう。
- (3) 「訓」読みしかない漢字はいくつあるでしょうか。
- (4) 「訓」読みしかない漢字を見つけて、ノートや取組シートに書きましょう。
※音読みはカタカナ、訓読みはひらがなで書いてあります。

② 39ページの①に取り組みましょう。音か訓かを線の横に書きます。

※教科書に書きこんでもいいですし、ノートや取組シートに文をうつしてから書いてもいいです。

③ 39ページの②に取り組みましょう。ノートや取組シートに書きます。

◆教科書39ページの漢字をノートに練習します。

① 153ページで書き順をかくにんしましょう。

② 出てきた漢字を使って、文や文章を書いてみましょう。

※挑戦できる人は、一つの文に音読みと訓読みの両方を入れた文にちょうせんしてみましょう。

例：「次回の学習課題では、教科書の次のページに進むのかな。」

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・「今から言う言葉が、音読みか訓読みか当ててみて。」というように、クイズをして楽しんでいく方法もあります。繰り返しの中で、「音読みって固い感じがするね。」「訓読みはすぐにわかるんだけどな。」など、子どもが自分なりの覚え方や発見をしたときに、大いにほめてあげてください。
- ・お子さんが学習した様子を後から確認する場合、ノート等を見て「この文には音読み訓読み両方入っていてすごい。」「〇個も文を思いついたんだね。」など、具体的によさを見付けてほめてあげてください。